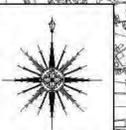
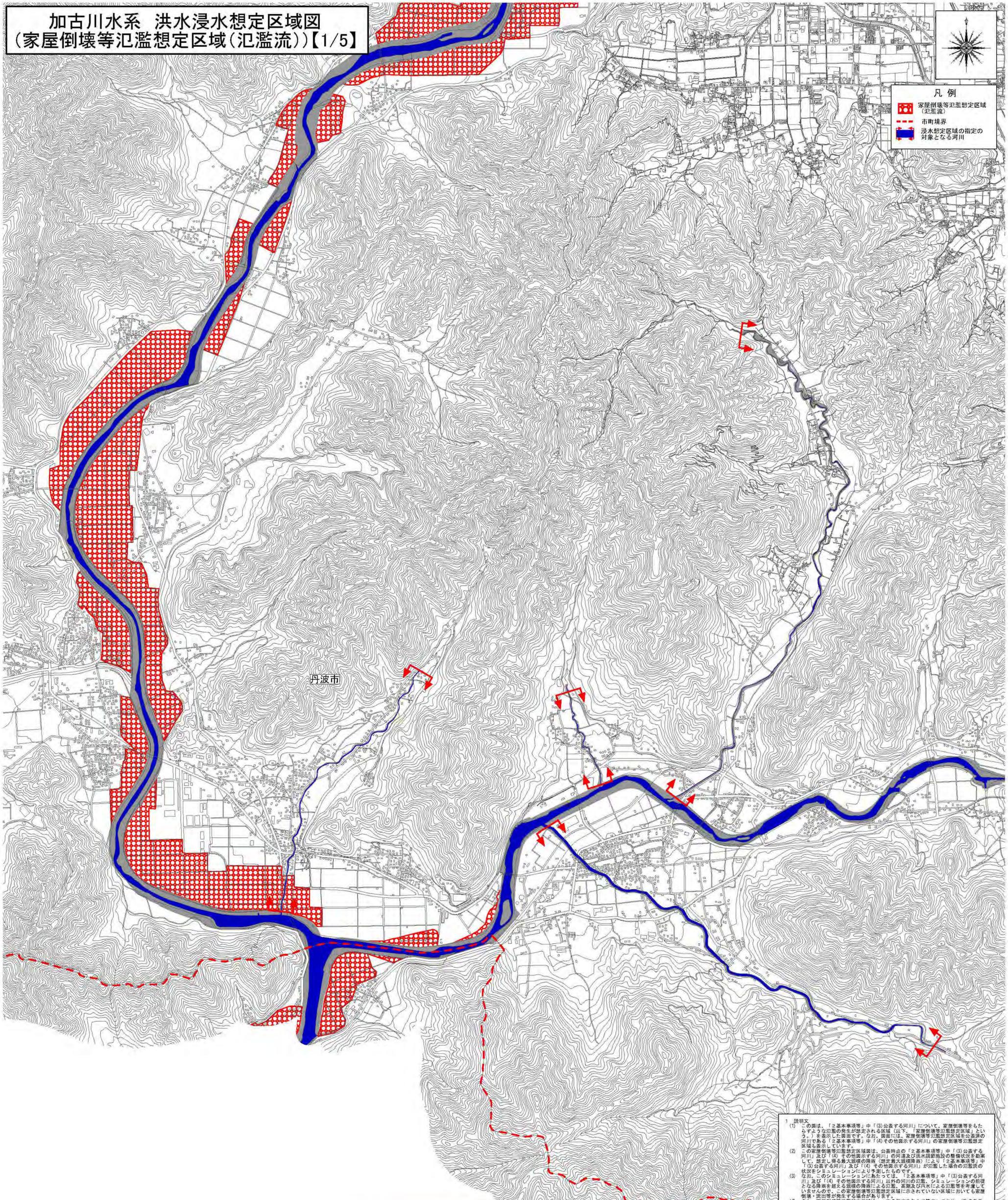


加古川水系 洪水浸水想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流))【1/5】



- 凡例**
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
 - 市町境界
 - 浸水想定区域の指定の対象となる河川



1 説明文

(1) その図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（以下、「家屋倒壊等氾濫想定区域」といふ。）を示した地図である。図面には、家屋倒壊等氾濫想定区域に公表する河川である「2基本事項等」中「(4)その他公表する河川」の家屋倒壊等氾濫想定区域も表示している。

(2) この家屋倒壊等氾濫想定区域図は、公表時点の「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他公表する河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を踏まえて、想定し得る最大規模の降雨（想定最大規模降雨）により「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他公表する河川」が氾濫した際の氾濫の状況をシミュレーションにより予測したものである。

(3) このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他公表する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの結果となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、その家屋倒壊等氾濫想定区域に示されていない区域においても家屋倒壊・浸水等が発生する場合があります。

(4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、家屋等が氾濫発生時の物理的な浸水状態を想定していること、この宅地には家屋がない土地の状態での氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。

2 基本事項等

(1) 作成主体 兵庫県
(2) 公表年月日 令和5年10月31日
(3) 公表する河川 加古川水系岩屋谷川、山田川、金屋川、石戸川、上流川、阿瀬川、大山村、大内川、小坂川、住吉川、藤岡川、新藤岡川、小坂川、奥市川、新藤岡川、阿瀬川、春日江川、野々根川、菅地川、四十九川、社川、高野川、瀬井川、川原川、水無川、般若川、藤岡川、三島川（指定区域外）

(4) その他公表する河川 加古川水系加古川、篠山川、宮田川
(5) 対象市町 西脇市、丹波篠山市、丹波市

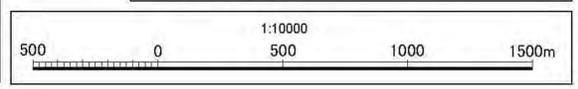
3 その他の計算条件等

(1) この図は「(3)公表する河川」及び「(4)その他公表する河川」で洪水・浸水・破壊した場合の洪水浸水想定区域を算出しています。このため、「(3)公表する河川」及び「(4)その他公表する河川」以外の河川・水路が洪水・浸水・破壊した場合の浸水状況は表示していません。

(2) この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他公表する河川」の堤防を有する区域においては、危険となる水位に達した時点で破壊させ、堤防が無い区域においては洪水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。

(3) 氾濫計算は対象区域を20mメッシュに分割して、これを単位として計算しております。また、この計算メッシュの地形高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を基本とし、計算メッシュ間の地形高は線形補間して算出しています。

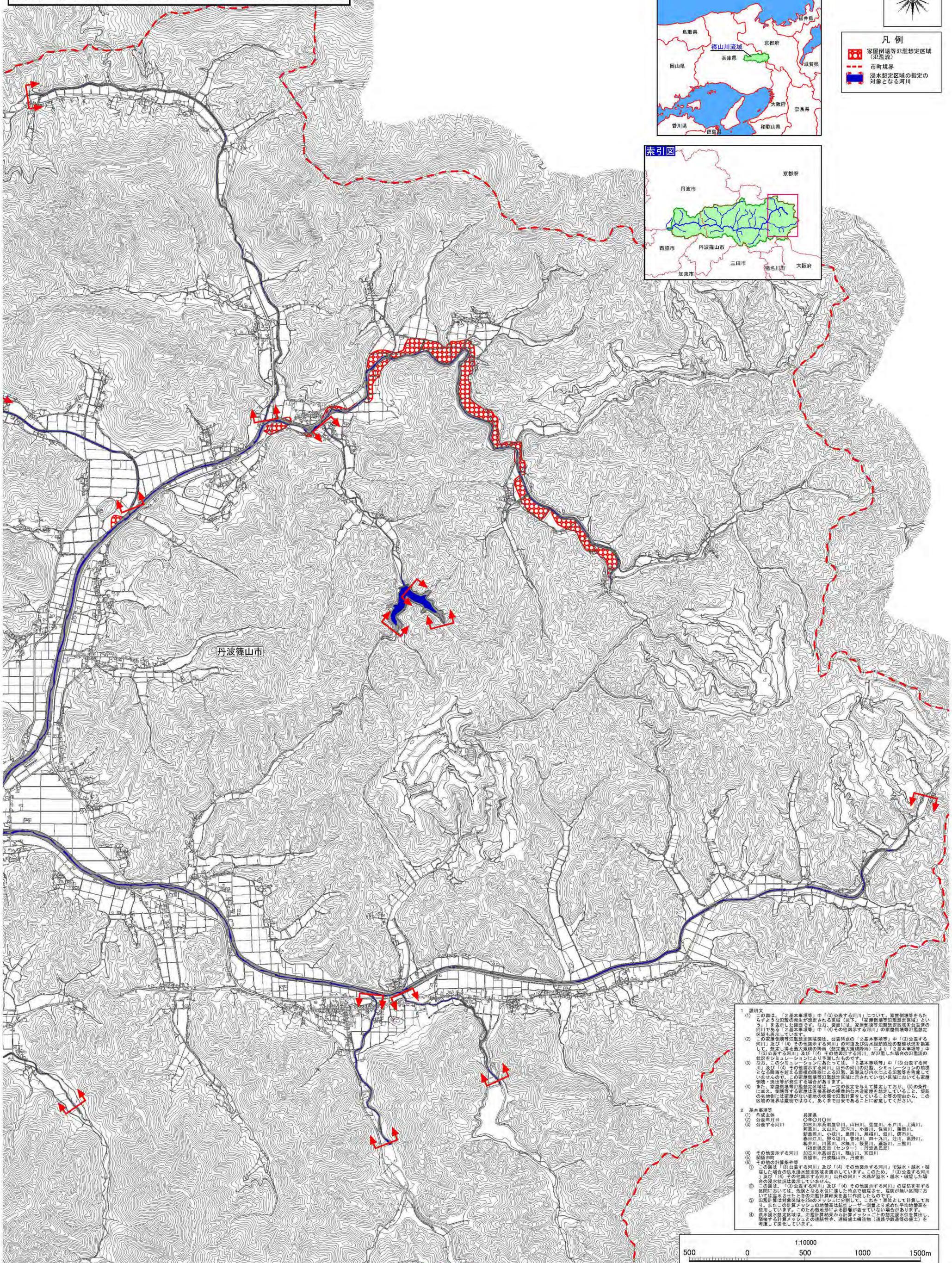
(4) 氾濫計算は対象区域は、氾濫計算メッシュごとの地形高を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続土壌構造（道路や鉄道等の壁）を考慮して算出しています。



加古川水系 洪水浸水想定区域図
(家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流))【5/5】



- 凡例
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
 - 市町境界
 - 浸水想定区域の指定の対象となる河川



丹波篠山市

- 1 説明文
- この図は、「2基本事項等」中「(3)公費する河川」について、家屋倒壊等をもたらしうな氾濫の発生が想定される区域(以下、「家屋倒壊等氾濫想定区域」という。)を示した図面です。なお、図面には、家屋倒壊等氾濫想定区域を公費する河川である「(3)公費する河川」及び「(4)その他公費する河川」の河川が示されています。この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公費する河川の河川及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の氾濫(想定最大規模氾濫)により「2基本事項等」中「(3)公費する河川」及び「(4)その他公費する河川」が氾濫した場合の氾濫状況のシミュレーションにより予測したものです。
 - この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公費する河川の河川及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の氾濫(想定最大規模氾濫)により「2基本事項等」中「(3)公費する河川」及び「(4)その他公費する河川」が氾濫した場合の氾濫状況のシミュレーションにより予測したものです。なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公費する河川」及び「(4)その他公費する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を想定する河川の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に示されていない区域においても家屋倒壊等氾濫が発生する場合があります。
 - また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、「(3)の条件」に加え、河川等の氾濫は高橋系統の氾濫想定を想定していること、堤防の存在については氾濫が想定されている区域に存在しないこと等から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。
- 2 基本事項等
- 作成主体 兵庫県
 - 公表年月日 Q年〇月〇日
 - 公費する河川 加古川水系有馬川、山田川、金屋川、石戸川、上瀬川、阿瀬川、大山川、天内川、小瀬川、佐吉川、藤原川、新瀬川、中瀬川、黒瀬川、新瀬川、畑川、野瀬川、春日江川、野々畑川、曹地川、四十九川、辻川、高野川、坂井川、川原川、水瀬川、藤原川、藤原川、三瀬川(特定川)等
 - その他公費する河川 加古川水系加古川、篠山川、宮田川
 - 非公費する河川 西瀬川、丹波篠山市、丹波市
- 3 その他計算条件等
- この図は「(3)公費する河川」及び「(4)その他公費する河川」で洪水・浸水・破堤した場合は洪水浸水想定区域を算定しています。このため、この図に示した区域には、(3)公費する河川及び「(4)その他公費する河川」の堤防を有する区域においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防が無い区域においては浸水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
 - 氾濫計算は、洪水浸水想定区域を500メッシュに分割して、これを1単位として計算しております。また、この計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため地形による影響を考慮していない場合があります。
 - 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの地盤高を算出し、隣接する計算メッシュの連続性や、連続堤土構造物(道路や鉄道等の土工)を考慮して図化しています。

